

学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』 2013年度新卒採用 就職・採用活動 10月度調査報告

エン・ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二)が運営する、学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』(<http://gakusei.enjapan.com/>)は、2013年3月卒業予定の学生と求人企業を対象に、『2013年度新卒採用 就職・採用活動アンケート』を実施いたしましたので、以下、概要をご報告いたします。

学生の悩みの上位は「何から手をつけていいか分からない」 企業が課題と捉えているのは「社員の早期離職」

【注目動向①】>>現在の就職・採用活動の状況

- 学生の活動内容上位は「自己分析(23.8%)」「学内のガイダンス参加(18.6%)」「業界研究(18.5%)」(図1)、悩みの上位は「何から手をつけていいか分からない(20.8%)」(図2)

⇒2013年卒向け新卒者採用より、企業の広報開始が2ヵ月後ろ倒しの12月となったことから、学生の活動内容に大幅な変化が見受けられます。昨年は「就職サイトからのエントリー」「業界研究」「企業研究」と、対企業へのアクションが上位を占めていましたが、企業と直接の接点がない今回は、「自己分析」「学内のガイダンス・イベント参加」といった内容が大きく増加し、上位となっています。就職活動の具体的なイメージをつかめていないことから、「何から手をつけていいか分からない」という悩みが先月に比べ約2ポイント増加しました。

- 企業の現在の悩みは、「採用計画・準備(44.9%)」「母集団形成(27.9%)」(図3)(コメント1)

⇒先月と比較し、「採用計画・準備」「母集団形成」の悩みがそれぞれ増加しています。広報開始の後ろ倒しによる懸念や不安(情報発信期間の短縮、採用活動の短期決戦など)から、母集団形成の対策や入念な採用計画の立案が必要と認識していることが伺えます。

【注目動向②】>>既卒者採用

- 49.3%の企業が「既卒者の応募を受け付けた」(図4)、
このうち、「内定を出した」企業は15.0%(図5)

⇒2012年度の新卒採用において、49.3%の企業が「既卒者(卒業後3年以内、以下同)の応募を受け付けた」と回答しました。その中で「既卒者からの応募があった」企業は75.0%、「既卒者に内定を出した」企業は15.0%でした。また2013年度においては、41.5%が既卒者の応募を受け付ける予定としており、既卒者採用における企業の対応に変化はないようです。

【注目動向③】>>企業の人材観

- 企業は新人研修を強化、研修では「意識面の育成」に注力(図6)(図7)

⇒来年度は新人研修を「前年より強化する(20.4%)」が「前年より縮小する(2.2%)」を大きく上回り、各社の積極的な姿勢が伺える結果となりました。新人教育において重視する要素は、「主体的に仕事に関わる姿勢」「チャレンジによる自己成長」「競争意識・成果へのこだわり」などが上位になり、社員の早期戦力化に向けて、意識面を強化する傾向にあるようです。

- 半数以上の企業が、社員の早期離職を課題視(図8)(図9)

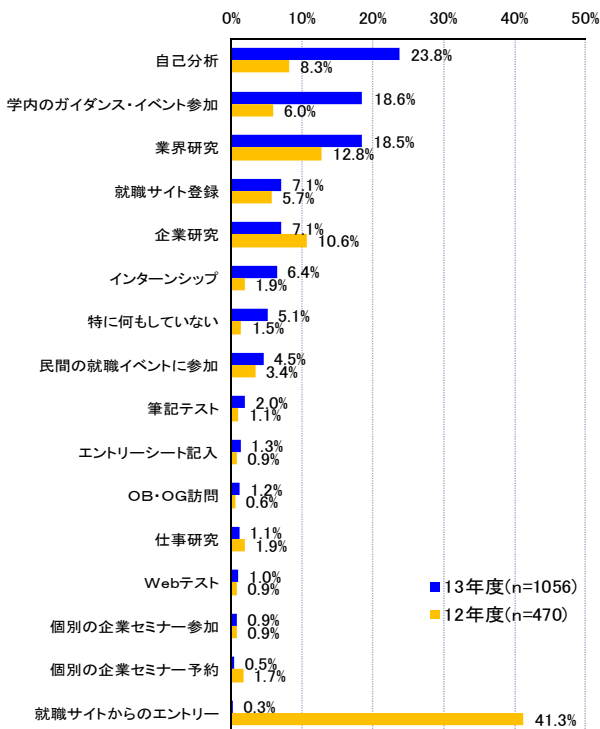
⇒社員の定着や、早期離職に対し「とても重要視している」「やや重要視している」の合計が51.0%でした。早期離職の理由としては「個人特性と仕事内容のミスマッチ」「周りの社員のサポート不足」などが挙げられています。また、定着率向上に向けては、「社員サポートを強化」「定期的に新入社員の話を聞く」などの取り組みを重視しています。

■ 本ニュースリリースに関する問合せ先

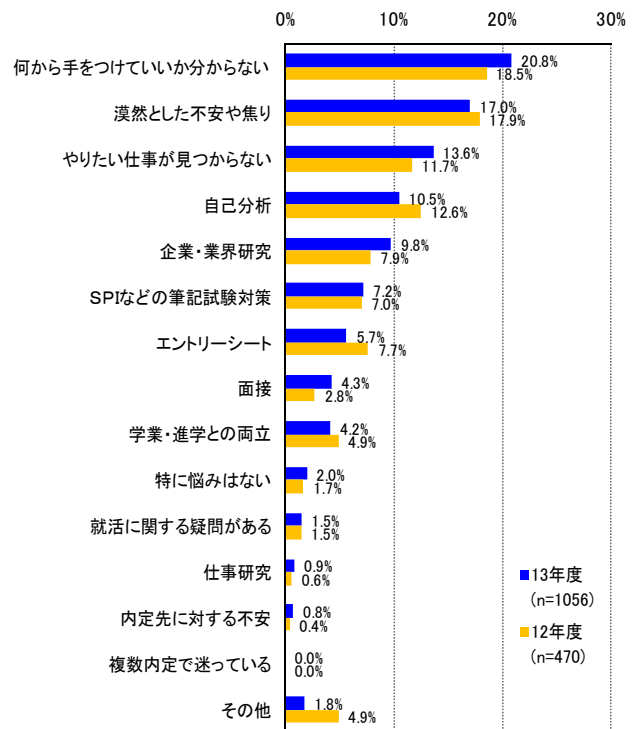
エン・ジャパン株式会社 広報担当:矢元・大原
〒163-1324新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー
TEL 03-3342-4506 FAX 03-3342-4507 MAIL en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

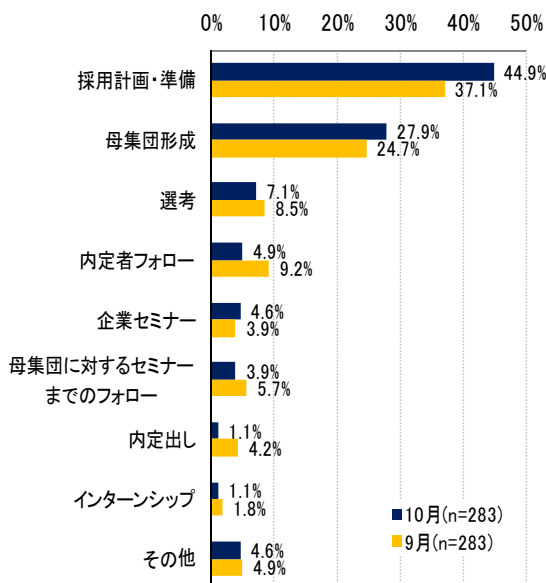
【図1: 10月の活動内容(前年比) <学生調査>】



【図2: 現在の悩み(前年比) <学生調査>】



【図3: 現在の悩み(先月比) <企業調査>】



【コメント1: 現在の悩み(理由) <企業調査>】

<採用計画・準備>

●採用活動がタイトなため、大手企業に目向着ている学生をどのように当社に興味を持たせるか、例年以上に工夫が必要と考えるから。
(サービス/300名未満/関東)

●2013がどんな様子か、他企業や学生のマーケット情報を収集した上で計画を練りたいと思っています。同時に、会社にどのような人材が必要かよりサーチしていく必要がある段階です。計画のイメージとしては年内に情報収集、年明けから動き出す予定です。(情報・通信/300名未満/東海)

<母集団形成>

●中小企業であり、BtoCの形態ではないので知名度が無い。加えて、設計等の人気職種ではなく生産技術職での採用となるので、学生へのアピールが難しい。
(メーカー/300名未満/関東)

●情報開示が12月スタートということで、学生側への情報発信期間が短くなるのが懸念される。学生が大量の情報に押し寄せられることは目に見えており、その中からいかに中堅規模の企業に目を向かせられるかが課題。
(サービス/1001~3000名/東海)

●情報公開の開始時期が遅くなっていることから、中小企業に学生が目を向けてくれるまで時間がかかるのではないかと懸念する。(メーカー/300名未満/四国)

【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

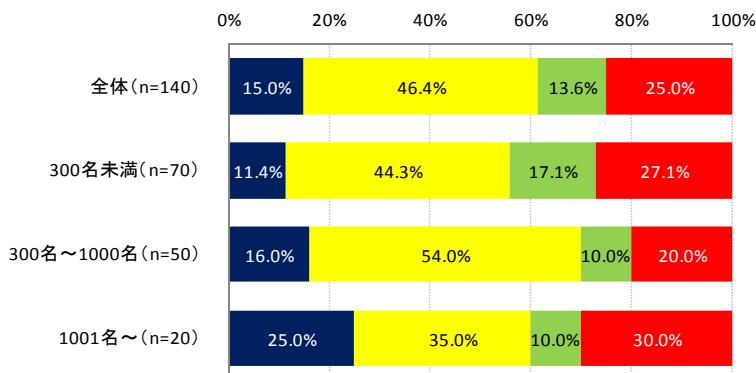
TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507

MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

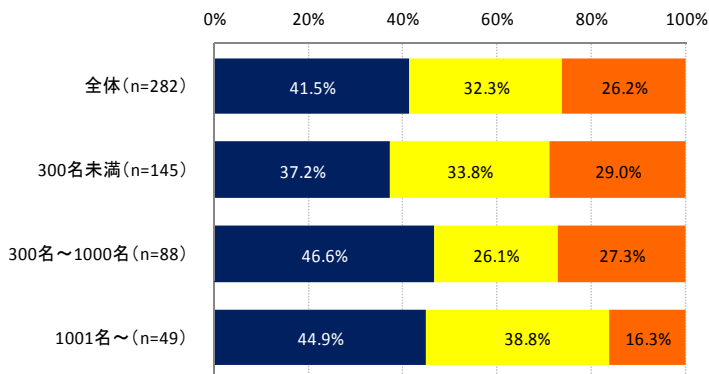
【図4: 既卒者の応募可能企業における採用活動結果<企業調査>】

■ 既卒者に内定を出した ■ 既卒者を採用選考したが、内定には至らなかった
■ 既卒者からの応募があったが、選考には至らなかった ■ 既卒者からの応募はなかった

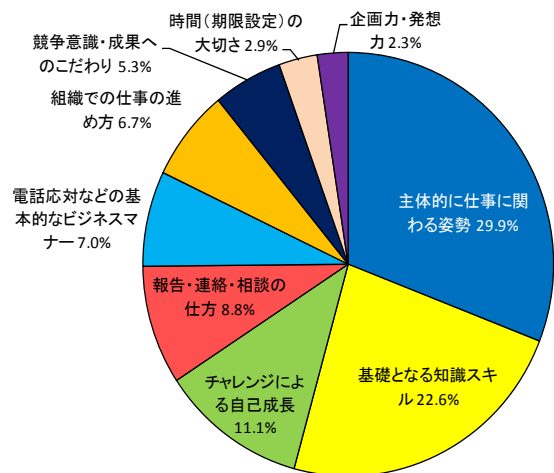


【図5: 2013年度新卒採用における既卒者応募受付予定<企業調査>】

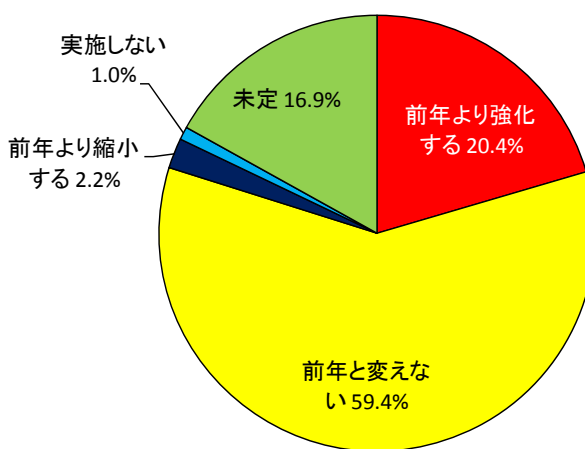
■ 受け付ける ■ 未定 ■ 受け付けない



【図6: 2012年4月入社の新入研修実施について<企業調査>】



【図7: 新人育成において重視する要素<企業調査>】



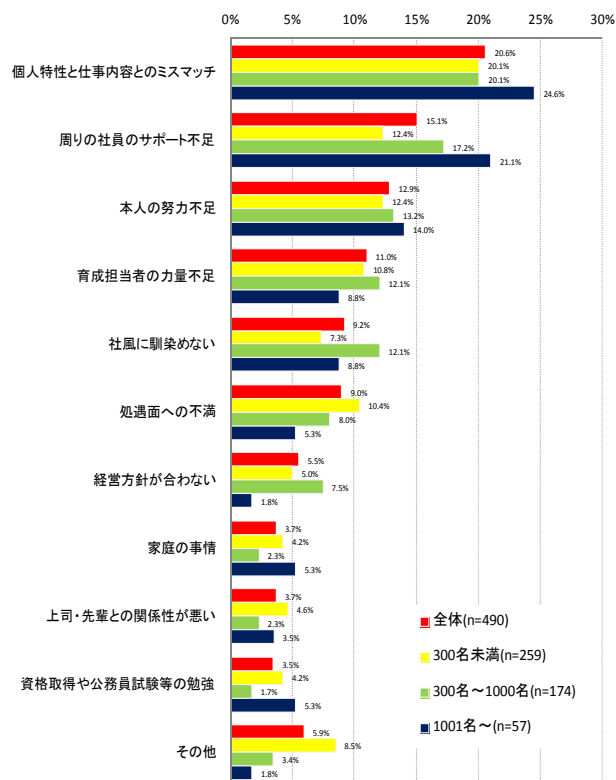
【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

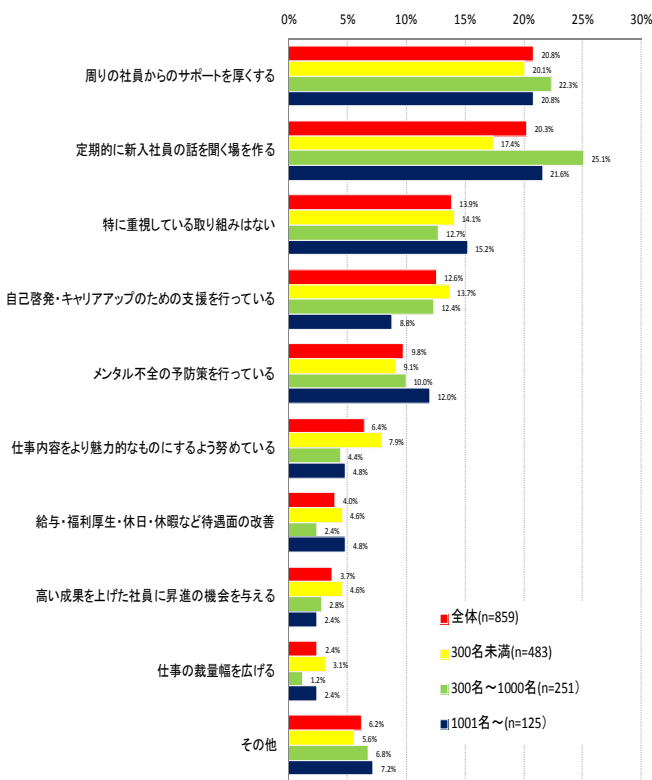
TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507 MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図8:早期退職の理由<企業調査>】



【図9:定着率向上のために重視している取り組み<企業調査>】



【その他の調査項目】 ※下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。

- <学生> ・想定している就職活動のスケジュール ・志望業界、志望職種
- ・企業の採用担当者との接触について ・2013年卒学生の職業観
- <企業> ・2011年の新入社員の活躍状況とその理由

調査概要

<学生調査>

対象:「[en]学生の就職情報2013」に登録するモニター学生
期間:2011年10月7日~10月17日
方法:E-mailによるWEB投票画面の配信
有効回答数:1,056名

<企業調査>

対象:「[en]学生の就職情報パートナーズNEWS」登録企業
期間:2011年10月7日~10月17日
方法:E-mailによるWEB投票画面の配信
有効回答数:341件

【[en]学生の就職情報について】 <http://gakusei.enjapan.com/>

大学生・大学院生・短大生・専門学生を対象とした、力のある中堅・中小・ベンチャー企業に特化した求人情報を掲載している学生向け就職情報サイト。イメージ先行の就職活動を行いがちな学生に対し、規模や知名度では計り知れない企業の「力」を5つの「カ」の項目で紹介し、仕事理解を深めます。

【エン・ジャパン株式会社】 <http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパンは、前身である株式会社日本ブレンセンターとして、1995年にインターネットを利用した総合転職情報サイトの運営を開始しました。転職情報サイト「[en]社会人の転職情報」を展開しながら、転職者には「転職は慎重に。」と訴え、安易な転職を勧めず、求人企業に対しても慎重な採用を求めるなど、「独自性」「社会正義性」という考え方のもと、サイト運営を行っています。転職情報サイトの他、派遣会社の集合サイト「[en]派遣のお仕事情報」など、正社員・派遣社員・新卒・アルバイトの各種求人情報サイトを展開し、求職者と求人企業のベストマッチングを実現しています。また、「『人』、そして『企業』の縁を考える。」という事業理念に基づき、2009年12月にオープンした結婚式情報サイト「エン・ウエディング」をはじめとした新規事業を積極的に展開しています。

【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507 MAIL: en-press@en-japan.com